

# 競技者注意事項

- 1 規 則 2024年度日本陸上競技連盟、本大会要項および本大会申し合わせ事項を適用する。
- 2 変更・訂正 選手・種目の変更は認めない。プログラムに誤記がある場合は、8時30分までに総務係に申し出る。競技の運営上、開始予定時刻が変更される場合がある。
- 3 練 習 練習は競技場内で行う。バックストレートにレーンを設定する。ただし、投擲跳躍の練習は審判員の指示により競技場ピットで行う。  
朝の練習はホームストレートは1・2レーンJOG、3・4レーンはバトン練習、5・6レーンは女子ハードル、7・8レーンは男子ハードル練習、バックストレートは1・2レーンJOG、3～6レーンはバトン練習、7・8レーンはスピード練習とする。
- 4 競技用靴について 2024年日本陸上競技連盟競技規則TR5:2及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。靴底の厚さが800m未満のトラック種目(ハードル含む)は20mm、800m以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することはできない。本競技会において、フィールド種目は適用除外とする。
- 5 アスリートビブス アスリートビブスは胸、背部に確実につける。ただし跳躍競技はどちらか一方でもよい。トラック競技においては写真判定を行う。トラック競技は腰ナンバーカードを使用する。招集時に各自腰ナンバーを受け取り、右側やや後方に確実につける。なお安全ピンは各自で用意する。
- 6 招 集 (コール) 招集場所(競技者係)は、100mスタート地点後方に設ける。出場者は自分の出場する種目ごとに、アスリートビブス・スパイク・シューズ等のチェックを本人が受けること。招集に遅れた場合は棄権とする。棄権については、必ず競技者係に届け出ること。  
**トラック競技**
  - ・招集時間は、競技開始予定時刻の40分前から30分前までで、その後スタート地点に10分前に集合する。**フィールド競技**
  - ・招集時間は、競技開始予定時刻の45分前から30分前までとする。招集後、各ピットに集合する。**リレー競技**
  - ・共通リレーのオーダー用紙は、競技開始2時間前～1時間前までに招集所(競技者係)へ提出する。
  - ・リレーオーダー用紙の提出後は、集合時間に各スタート地点へ直接集合する。
- 7 スパイク スパイクのピンは、走高跳12mm以下、他は9mm以下
- 8 走高跳バーの上げ方 男子1m20cm、女子1m00cmから競技を開始する。以後のバーの上げ方は5cm単位とする。競技開始前の練習および雨天時の高さは、審判主任の指示による
- 9 競技方法 ①トラック競技はすべてタイムレースとする。  
②フィールド競技は3回の試技とし、走幅跳と砲丸投は、トップ8の選手も4回目以降の試技は行わない。
- 10 スタート ①スタート時の不正行為は警告を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカードで当該種目のみ失格とする。ただし競技会から除外はしない。  
②800mはセパレートレーンでスタートを行う。
- 11 表 彰 競技終了後学校で一括して受け取る
- 12 そ の 他 ①朝の準備後、各校顧問は、参加者一覧と参加料を提出すること。  
②各自、各校はマナーを守り、ゴミの処理、所持品の管理に留意する。また、ビニール袋を持参し表にアスリートビブスのナンバーを書き競技に参加すること。  
③競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置を行う。  
④出入りは2階中央ゲートを使用する。保護者の応援、見学はメインスタンドの生徒が着席していない北側・南側を使用する。